

12月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日（定例会号）、1月1日（新年号）に発行します。
次回は2月定例会号を発行予定です。



いちかわ

市議会だより

2026年（令和8年）第274号

2月14日（土）

発行 市 川 市 議 会
編集 議 会 運 営 委 員 会
市川市八幡 1-1-1 ☎ 334-1111
<https://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1541000002.html>



市川市のふるさと納税の返礼品

左上：市川のなし 右上：行徳のノリ 左下：動植物園の一日飼育員体験 右下：デジタル地域通貨 ICHICO のふるさとポイント

12月定例会

市長提出議案10件を可決

補正予算はふるさと納税制度活用事業委託料など

市議会は、令和7年12月定例会を11月28日から12月12日まで開催しました。

12月定例会では、市長から、「市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止について」、「市川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について」、「市川市道路占用料条例の一部改正について」、「令和7年度市川市一般会計補正予算（第4号）」などの議案10件と報告3件が提出され、これらを一括議題として9会派が代表質問を行いました。

議員からは、「病院への緊急支援を求める意見書の提出について」、「部活動の地域展開（移行）に対する国の財政支援を求める意見書の提出について」、「保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書の提出について」、「巨大大災害発生に対する体制整備を求める意見書の提出について」、「地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について」などの発議案10件が提出されました。その他、23人の議員による一般質問を行いました。

本会議での採決の結果、市長提出議案の10件をいずれも原案通り可決しました。また、議員提出議案については、提出された意見書案10件のうち、7件を可決、3件を否決しました。

（代表質問は2～4面、一般質問は5～7面、審議結果一覧は8面に掲載）

◆主な議案

○市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止について

令和7年12月31日までに全ての住民基本台帳カードの効力が失われることから、同カードを利用して提供するサービスを定める本条例を廃止するものです。

○市川市道路占用料条例の一部改正について

国の状況等を考慮し、受益者負担の適正化を図るため、道路占用料の額を見直し、道路法施行令に合わせて占用物件を追加するものです。

【主な質疑】

「本条例の改正に関しては、令和7年9月定例会において一度議案が提出されたが、改定する道路占用料の額について更に精査する必要があることから撤回された経緯がある。そこで、本議案により道路占用料を見直した場合、前回提出されたものと比べ、歳入はどの程度増加するのか」との質疑に対し、「令和8年度については、約480万円の増額を見込んでおり、9年度及び10年度については、それぞれ約1500万円の増額を見込んでいる」との答弁がなされました。

○令和7年度市川市一般会計補正予算（第4号）

一般会計補正予算案は、歳出において、統計調査調査員等報償金、ふるさと納税制度活用事業委託料、相之川地区浸水対策実施設計委託料、二俣地区排水路改良工事費、校舎等改修工事費など、歳入において、児童手当負担金、学校施設環境改善交付金、諸統計調査委託金、消防救急無線再整備事業助成金収入など、それぞれ14億6157万8千円を追加し、歳入歳出の総額を1944億72万9千円とするものです。

【主な質疑】

「小学校費の施設修繕料3千万円及び中学校費の施設修繕料2500万円の内訳はどのようなものか」との質疑に対し、「小学校施設修繕料3千万円のうち、宮田小学校の冷暖房設備設置費用が1千万円、妙典小学校のエレベーター修繕費が343万5千円、残りが突発的修繕の対応費となっている。また、中学校施設修繕料2500万円のうち、第一中学校の冷暖房設備設置費用が1500万円、残りが突発的修繕の対応費となっている」との答弁がなされました。また、「ふるさと納税の寄附額は何の程度を見込んで補正予算を計上しているのか。また、約1150万円の支出の内訳はどのようなものか」との質疑に対し、「寄附額は、当初予算の見込みから、2570万円の増額を見込んでいる。また、支出の内訳については、ふるさと納税のポータルサイトの経費として、寄附額のおおむね10%の約270万円、返礼品の経費として約880万円を見込んでいる」との答弁がなされました。

◆報告

市川市立大洲小学校（仮称）教室棟増築工事請負変更契約などの専決処分の報告3件がなされました。